



**KILLER
WAIL^{v2}**

Richie Kotzen

**KILLER
WAILTM
BLUE
WAILTM**

USER GUIDE

1 はじめに

1960年代から音楽の世界で定番となっているワウエフェクトは、世界中の影響のあるプレイヤーによって愛用されてきました。しかし、そのノスタルジックな魅力の裏には、ノイズや信頼性の低い機械部品といった欠点も存在しました。Killer Wailシリーズは、原音の魅力を最大限に活かしつつ、従来のワウエフェクトが抱えていた問題点を克服しました。光センサー技術を採用することで、ボットの摩耗やスクラッチ音、POPノイズの心配を解消。さらに、アルミニウムの削り出し筐体を採用し、あらゆる環境で安心して使用できる堅牢性を実現しました。

2 機能とコントロール

オリジナルのヴィンテージワウを忠実に再現するために、周波数だけでなく、Q（フィルターの鋭さ）も変化する特別設計のフィルターを搭載しています。これは単純なバンドパスフィルターやローパスフィルターではなく、ペダルの踏み込み具合に応じて効果が変化します。ペダルをつま先側に踏み込むと高音域がブーストされ、かかと側に踏み込むと低音域がブーストされます。

KILLER WAIL v2のエフェクトON/OFF(バイパス):

ペダル左上にあるスイッチを押すことで、エフェクトをON/OFF(バイパス)できます。

ON: LEDが赤く点灯

OFF(バイパス): LEDが青く点灯

RICHIE KOTZEN SIGNATURE KILLER WAIL KILLER BLUE WAILベースワウのエフェクトON/OFF(バイパス):

RICHIE KOTZEN SIGNATURE KILLER WAILおよびKILLER BLUE WAILベースワウには、スプリング機構が搭載されています。

足をペダルから離すと、自動的にバイパス位置(0地点)に戻ります。

ペダルを前方に踏み込むと、エフェクトが自動的に作動します。

3 接続

楽器を入力ジャックに接続し、出力ジャックからはアンプの入力ジャックまたは他のエフェクトペダルの入力ジャックに接続します。

他のエフェクターとの組み合わせ:

次の順序が基本的な組み合わせ順です。

Killer Wailの前: コンプレッサー、オーバードライブまたはファズ

Killer Wailの後: SansAmp、オーバードライブまたはファズ、コーラス、ディレイ、エコー、リバーブ、フランジャー、フェイズシフター

*ヒント:

ワウを歪みの前に配置すると、伝統的な「ロック」ワウトーンが得られます。

ワウを歪みの後に配置すると、非常に広範囲な「シンセ」タイプのフィルタリング効果が得られます。

ワウの前に軽い歪みを配置し、ワウの後に(ペダルまたはアンプから)さらに歪みを加えると、非常に豊かなリードトーンが得られます。

4 ペダルのトルク調節

ワウペダルのトルクは、ペダルの右側にある大きなボルトとナットで調整できます。調整には、2つの7/16インチまたは11mmのナットドライバーを使用します。

1つはワウの左側のナットを保持し、もう1つは右側のボルトとナットを回して調整します。

締めるには時計回りに回し、緩めるには反時計回りに回します。

5 電源について

本体底部の電池ボックスに9Vアルカリ電池 (006P/別売) を装着するか、2.1mm DC 9V(φ2.1mm センターマイナス)電源 (別売) を接続してください。

注意: 入力ジャックを挿すとペダルが作動 (ON) します。電池を節約するため、使用しないときはプラグを抜いてください。

RICHIE KOTZEN SIGNATURE KILLER WAILは、以下の条件でファンタム電源による動作が可能です。

Richie Kotzen Signature RK5 v3 Fly Rig を使用する場合、ワウの出力からFly Rigの入力へ 1/4” TRSケーブル を接続することでファンタム電源が供給されます。